

事例28 強風にあおられ物干し竿が落ちてくる

1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験3年、60歳代の女性
作業	洗濯作業
災害の型	飛来落下
起因物	物干し竿
傷病	頭部打撲傷と頸椎捻挫
災害の程度	3週間の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、庭先で利用者の汚物を洗い流していたときに、急に、突風が吹き、その強風のおおりで物干し台にかけてあった物干し竿4本が落下し、後頭部から肩にかけてあたった。

3 原因

- (1) 物干し竿台と物干し竿は、片側のみ紐で固定してあり、不安定な状態であった。
- (2) 物干し竿の近くと落下物がありそうな場所で作業をした。

4 対策

(1) 事業者

- ① 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。

(2) 介護労働者

- ① 物干し竿は物干し台と紐等で両端を固定するよう利用者宅に願います。
- ② 落下物がありそうな場所での作業を避ける。やむを得ず作業を行う場合は、視線の中に落下物等を入れておく。

事例29 移乗時に車いすが動き出し、前にいた人の足に乗る

1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験10ヶ月、40歳代の女性
作業	移乗作業
災害の型	激突
起因物	車いす
傷病	足の打撲傷
災害の程度	1週間の休業災害



2 発生状況

介護労働者2名で入浴介助作業を行っていたが、その後、浴槽脇の椅子から車いすへの移乗を終え、車いす前輪の前に立っていた。車いすの運転側にいたペアの介護労働者が、車いすに乗っていた利用者をシートの奥深く座らせようと動かしたときに、車いすの前輪が動き出し、左足の上に乗ってしまい、病院で受診した。

3 原因

- (1) 入浴介助後、車いすの前で他の作業をしていたため車いすの動きに気づかなかった。
- (2) 車いすの進行方向で作業を行っていた。
- (3) コミュニケーションを図らず、それぞれの作業を行っていた。
- (4) 車いすにブレーキをかけずに作業を行った。

4 対策

(1) 事業者

- ① 複数作業の場合は、お互いに声を掛け合いながら作業を行うよう指導する。
- ② 作業中は車いすのブレーキをかけるとともに、車いすの移動方向で作業をさせないよう指導する。
- ③ 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。

(2) 介護労働者

- ① 車いすでの作業を行う時は、ブレーキをかける。
- ② 二人作業時は、声を掛け合うようにする。
- ③ 車いすの進行方向に立たない。